

【専門教育関連科目/環境の理解】

科目名		ナンバリング		区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
保健医療福祉行政論Ⅰ		NSF32_004		必修	1	3	前期
担当教員		研究室		電子メール ID		オフィスアワー	
望月 宗一郎		302		s.mochizuki		水曜日 12:30～14:00	
授業の目的・概要		わが国は、世界に例を見ない急速な少子高齢社会を迎えている。今後は、更なる高齢化の進展により、医療・介護サービスの需要の拡大が予想される中で、これに対応できる地域医療提供体制を構築していかなければならない。保健医療福祉行政論Ⅰでは、社会システムの基盤をなす医療提供体制の理解が深められるよう、保健医療福祉行政の仕組みや制度の変遷、財政の理念、保健医療福祉に関する計画策定に至るまで、幅広い知識と考え方を身につけることを目的とする。					
授業形式・方法		☒対面授業 ☐遠隔授業（双方向型） ☐遠隔授業（自主学習） ☒講義 ☐実習 ☐実技 ☐PBL ☐グループワーク ☐その他（ ☐反転授業 ☐プレゼンテーション ☐実習・フィールドワーク					
学習上の助言		本科目には、2年次必修科目の「公衆衛生学」をしっかりと復習した上で臨むこと。また、3年次必修科目の「社会保障論」、「看護と関係法規」と特に密接に関わっており、連動させて学修することを勧める。授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問し課題を解決すること。					
教科書		新版 生活健康科学 /編:小田切陽一 /三共出版 /2023					
参考書		国民衛生の動向2022／2023 厚生省の指標増刊 /厚生労働統計協会 /2022					
外部教材		特になし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針		
①	保健医療福祉行政の基本的な仕組みを理解し、説明できる。				HSU(1)(2),NS(1)		
②	わが国の社会情勢の変化に対応した保健医療福祉の政策を説明できる。				HSU(1)(2),NS(1)		
③							
授 業 計 画							
回	学習内容等			授業方法		学習課題・学習時間（時間）	
1	オリエンテーションから本科目の概要を学ぶ。健康の理解、保健医療福祉行政の根拠について学習する。			講義		教科書の該当箇所を予習する。2	
2	保健医療福祉制度の変遷① 公衆衛生政策の基盤形成期について学習する。			講義		教科書及び授業配布資料を復習する。4	
3	保健医療福祉制度の変遷② 公衆衛生政策の充実・転換期について学習する。			講義		教科書及び授業配布資料を復習する。4	
4	保健医療福祉行政の仕組みについて学習する。			講義		教科書及び授業配布資料を復習する。4	
5	医療提供体制と医療保障について学習する。			講義		教科書及び授業配布資料を復習する。4	
6	介護保険制度の概要と課題について学習する。			講義		教科書及び授業配布資料を復習する。4	
7	労働および社会要因と健康について学習する。			講義		教科書及び授業配布資料を復習する。4	
8	保健医療福祉計画について学習する。 これまでの学習を定着させる。			講義		教科書及び授業配布資料を復習する。4	
試	筆記試験 達成度評価・評価のポイントを参照						

【専門教育関連科目/環境の理解】

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	看護師国家試験をベースにした筆記試験を行う。			必要に応じ試験問題の解説を行い、不明点を解消させる。	
	②	✓					
	③						
レポート	①						
	②						
	③						
成果発表	①						
	②						
	③						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
その他	①						
	②						
	③						
備 考							
他 担 当 教 員		なし					
教 員 の 実 務 経 験		行政保健師として8年間の勤務経験を有する。					
実践的授業の内容		担当教員の自治体での勤務経験を活かし、現場における具体的な事例を交えながら講義を進める。					
そ の 他		・ 講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。 ・ 学生の理解度に応じ、講義の速度や順番を調整する可能性がある。					